



ENEOSおおいた

第37号
2018年3月22日

当社社長による大分製油所巡視

2018年1月24日(水)、杉森社長が製油所巡視のため来所しました。

大分製油所の操業報告や現場視察が行われ、大分製油所の安全安定操業を確認いたしました。なかでも、社長と所員との直接対話の場では所員が感じている疑問（「大分製油所の強みや弱み」「困難な状況への対処の仕方」「今後のグローバル化や脱石油」など）について、直接、社長から意見や考えを聞くことができ、出席者一同、大変身が引き締まる思いとなりました。

杉森社長からの言葉を胸に、今後とも地域の皆様と一緒に製油所の発展、安全安定操業に努めてまいります。



右列手前から3番目が杉森社長



前列左から2番目が杉森社長

2017年度 高圧ガス認定本社監査

2018年2月8日(木)～9日(金)の2日間、本社環境安全部 寺本部長を団長とした監査団による高圧ガス認定本社監査を実施しました。本監査は、当所の高圧ガス保安・完成検査が高圧ガス認定基準を維持しているかの確認を行い、今後の高圧ガス検査の体制と運用管理の向上を図ることを目的に実施しています。

本監査は毎年行っているもので、今回も大きな指摘事項はなかったものの、製油所のよりよい運営に向け、監査団からの推奨事項などを含めたアドバイスがありました。監査団からのアドバイスを活かし、大分製油所の安全安定操業の更なる向上のため、一段と改善に努めてまいります。



レスポンスブル・ケア地域対話集会

2018年2月24日(土)、家島・三佐地区、その他の自治会の方々および近隣企業が集まり「第11回レスポンスブル・ケア地域対話集会」が鶴崎公民館にて開催されました。

大分地区化学関連企業の取り組みとして、地震対応や事故防止対策等のプレゼンを行い、総合質疑においては事故時の地域への連絡体制や行政対応、危険物の適正な管理ならびに護岸改良計画の進捗等、多くの質問や意見が寄せられ活発な対話集会となりました。

皆様からいただいた貴重なご意見を、製油所含め近隣化学関連企業とも連携して対応や運営に反映してまいります。



スポーツ公園ツル伐りボランティア

本活動は、来年2019年に開催予定である「ラグビーワールドカップ」で多くの観覧者が来場する大分銀行ドーム周辺の里山をきれいにし、美しい森づくりを行うことを目的に、企業とNPOで協働し森林整備（ツル刈り）を行うものです。

斜面での作業で足場が悪い中、目線より下の枝とツルをノコギリで取り除いていくと、視界が広がり、見晴らしが良くなります。

今後も、本活動を始め、地域に貢献出来る活動に積極的に参加していきます。



平素より大分製油所の運営に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

当製油所では、5月連休明けから6月下旬にかけて第1、第2装置の定期修理(No.80SDM)を実施いたします。

工事期間中は、通行車両も増え、近隣地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、安全には万全を期して参りますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

JXTGエネルギー 大分製油所

〒870-0112 大分市大字一の洲1番地1

担当部署 総務グループ (097-523-2201) 環境安全グループ (097-523-2241)